

社協だより

令和 元年 8月10日 (第40号)

発行 船越地区社会福祉協議会

広島市安芸区船越5-17-12

TEL823-1926 FAX823-1932

いわたき童謡の会 20周年 (船越地区社会福祉協議会 直轄事業)

いわたき童謡の会は平成12年1月からスタートし、今年20周年を迎えております。60歳以上の方を対象に、原則 毎月第2・第4金曜日 13時30分から15時まで、いこいの家 2階大広間で、昔懐かしい童謡・唱歌、歌謡曲などを歌っております。船越中学校の合唱祭に地域合唱として参加させていただいたり、敬老会の演芸に出演させていただいております。

大きな声を出しみんなで歌うこと、また、休憩時の歓談などが健康増進につながっていると思います。20年続けて参加されている方が5人おられます。

これからも楽しく続けていきたいと思っております。



ある日のひとコマ



船越中学校合唱祭



合唱風景



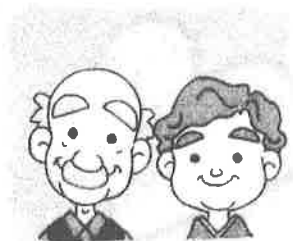
敬老会

金婚ご夫婦はいらっしゃいませんか？

皆さんお元気ですか。今年のご長寿をお祝いする「敬老会」は11月2日(土)です。例年通り、金婚ご夫婦のお祝いも併せて行います。該当する方は、次によりお申込み下さい。

1. 対象者 昭和44年中に市役所や役場に婚姻届を出されたご夫婦
2. 申込方法 戸籍謄(抄)本をご持参ください。
3. 申込期限 令和元年10月2日(水)まで
4. 申込先 船越地区社会福祉協議会

船越五丁目17-12 船越老人いこいの家
電話 823-1926
(火曜日と8月12日 休館)



ボランティア講座開催

少子高齢化が進む日本では、高齢者の増加に伴い認知症の人の割合が増加しています。認知症について理解を深め、より良い対応の仕方を学ぶ為、7月10日、福祉委員・民生委員・ボランティアの方々を対象に、ボランティア講座を開催しました。

(瀬野川・船越地域包括支援センター共催)

講師 グループホームもえぎ ホーム長 賀来 興治氏
グループホームもえぎ野 ホーム長 坂本 裕二氏

題 「認知症のこと、どのくらい知っていますか？」

内容 講義、寸劇とその内容に対しての解決策を参加者が考える

物取られ編



〈場面〉

いつも財布が見当たらないと「嫁が取った」と言う。

〈参加者の意見〉

- ・否定しないで一緒に探すようにしたい。
- ・一緒に探す人が財布を見つけても、本人が見つけれられるように誘導すると本人が納得しやすいと思う。

道に迷った編



〈場面〉

夜、不安そうにうろろして、道に迷っている様子。

〈参加者の意見〉

- ・声をかけて、行先を聞いてみて、できれば一緒に行ってあげる。
- ・知り合いなら自宅まで送ってあげる。

講義



『住み慣れた地域で
安心して暮らせるように』

認知症の人への接し方

- ・驚かせない
- ・急がせない
- ・自尊心を傷つけない
- ・余裕を持って対応する
- ・声をかける時はひとりで
(大勢で一度に言わない)
- ・声をかける時は前から
- ・相手に目線を合わせる

船越老人いこいの家の8月・9月・10月の休館日は
毎週火曜日と8月12日(月)・10月23日(水)です。